

柏中・柏高同窓会講演会

地域はこれからどう生きるか
—— 構造改革もたらしたもの! ——

平山征夫氏 (高15回卒)

※震災からの復興にも触れますが、市長選もあり演題は一般論にしました。

- 講師略歴 昭和38年3月 柏崎高校卒業
42年3月 横浜国立大学経済学部経済学科卒業
42年4月 日本銀行入行 人事部
60年11月 総務部広報課長
62年7月 電算情報局総務課長
平成元年5月 新潟支店長
4年5月 仙台支店長
4年10月 新潟県知事
8年10月 新潟県知事再選
12年10月 新潟県知事三選
16年10月 新潟県知事退任
17年4月 国立大学法人長岡技術科学大学 特任教授
20年4月 新潟国際情報大学長
※17年1月 ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所名誉博士

柏崎の「美財論」のために

梶谷 剛氏 (高18回卒)

※幕末期「米百表」の逸話を残した、長岡藩家老河井継之助が師事した備前松山藩の山田方谷は「理財論」を展開しました。わが家の四代前八藤大もまた山田方谷に師事していた事を最近知りました。この困難な時代、明るい柏崎のために「理財論」を出発点にして、皆様とお話ができれば幸いです。

- 講師略歴 1966年(昭和41年) 柏崎高校卒業
1970年 東北大学工学部卒業 同年大学院修士課程進学
1975年 東北大学大学院工学研究科退学 同年学術振興会奨励研究員
1976年 米国イリノイ大学博士研究員
1978年 米国アルゴンヌ国立研究所客員研究員
1980年 東北大学金属材料研究所助手
1990年 同所助教授
1993年 東北大学工学部教授応用物理学科
制度変更により東北大学大学院工学研究科応用物理学専攻に配置換え、現在に至る
学位 工学博士
専門分野 X線・中性子線による結晶構造解析
熱伝導体の創成・物性測定
金属水素化合物の創成・物性測定

高10回卒業生 卒後50年
母校で出張授業

6月11日(水) 柏高2年生を対象に出張授業が展開された。教室や体育館で6つの授業が行われ各20〜100人程度の生徒が各界

で大きな業績を挙げた先輩の講義に耳を傾けた。講師6人のサポート役として同期30人以上が来校した。(次号に記事予定)

講師および演題

- ① 金子章子氏「生命に寄り添って」
② 滝沢東彦氏「見る、聞く、考える、書く……記者の仕事」
③ 中村眞氏「運輸多目的衛星「ひまわり6号」」
④ 打ち上げに参画して「吉浦春樹氏「世界を相手に：化学技術者の会社生活」」
⑤ 吉野尚也氏「ヤル気を生む8つの要素」
⑥ 若山利文氏「発想の転換と不転換の勇気で、問題の解決を図ろう」

高18回卒還暦同期会

高18回卒の還暦同期会が昨年10月20〜21日に柏崎・鯨波のメトロポリタン松島において、115名の出席者により盛大に開催された。

前年から地元の同期生が実行委員会を設置して、先輩の毎年の還暦同期会ノウハウを検討し、運営準備万端整えたところに7月16日の地震発生。未曾有の災害であり中止か、延期か、開催か、深刻な議論を経て予定どおりの開催とした。震災見舞いをかねて参加したという同級生もあつたが、震災でキャンセルとなった同期生のいたことが残念であった。

高34回卒同期会

ゴールデンウィークの真つ只中、5月5日に私達第34期の同期会を開催しましたので、計5回の幹事会幹



柔道教室までベニヤ板仕切の教室にして詰め込まれた学年である。英会話も、憲法も、明治以降も学んだ記憶はなく、カリスマ教師も去った後の学年であったが、タフな学年であったことは確かである。とくに女性陣の強さを思い出すのは筆者ばかりではなからう。一同は過去の自分を取り戻して思い出を語り合い、歌い、さらに現在の無事と健康に感謝し、友の消息を思い、物故者27名を悼んだ。翌朝は希望者による市内ミーツアールも行われ、母校見学と震災跡を回った。

当日の受付では、名前と顔が一致しないことを前提に、高校の卒業写真を拡大して首に掛けさせた。これは高16回卒先輩からの伝授である。おかげで全員が高三時代の顔、現在の顔を比較照合し相互に確認。懐かしさと笑いで一挙に青春時代に戻ったことはいまでもない。御嶽山神社による厳粛かつ軽妙洒落な(?) 還暦神事を済ませると、あとは18才当時に戻るのみ。なにせ我等団塊世代、一期生、学年人数465名(入学時474名)で、これは柏高史上最多か。体育館、プールこそ新築だったが西運動場

事長の強いリーダーシップの下、毎回飲み会付きで開催を重ね準備を進めてきました。まずは受付を済ませ、集合写真の撮影をおこないました。懐かしい友との再会にあつという間に心は18歳に逆戻り、しかし容姿まではそうとはいかなかったようです。卒業時の担任と副担任の先生方にお声掛けをしたところ、玉木校長先生、神林繁先生、登坂勉先生、後藤憲一先生、小林崔先生、遠山昌見先生の6名の恩師から出席いただきました。近況を交えながらのお話しに当時の若々しかった姿が目に見え、懐かしさで胸が締めつけられました。卒業以来27年振りになりました。卒業以来27年振りになりました。卒業以来27年振りになりました。卒業以来27年振りになりました。

卒業時の担任と副担任の先生方にお声掛けをしたところ、玉木校長先生、神林繁先生、登坂勉先生、後藤憲一先生、小林崔先生、遠山昌見先生の6名の恩師から出席いただきました。近況を交えながらのお話しに当時の若々しかった姿が目に見え、懐かしさで胸が締めつけられました。卒業以来27年振りになりました。卒業以来27年振りになりました。卒業以来27年振りになりました。卒業以来27年振りになりました。



柔道教室までベニヤ板仕切の教室にして詰め込まれた学年である。英会話も、憲法も、明治以降も学んだ記憶はなく、カリスマ教師も去った後の学年であったが、タフな学年であったことは確かである。とくに女性陣の強さを思い出すのは筆者ばかりではなからう。一同は過去の自分を取り戻して思い出を語り合い、歌い、さらに現在の無事と健康に感謝し、友の消息を思い、物故者27名を悼んだ。翌朝は希望者による市内ミーツアールも行われ、母校見学と震災跡を回った。

高桑内科医院 高桑正道 (高18)
会田内科医院 会田恵 (中41)
高島内科胃腸科 高島憲一郎 (高13)
尾崎歯科 尾崎章彦 (高18)
新潟医・歯学同窓会 会長 阿部春樹 (高17)
阿部歯科医院 阿部晴弘 (高17)
株会田写真館 スタッフ一同
株式会社植木組 取締役会長 植木康之 (高15)
おこめの十一屋 阿部健一 (高3) 阿部健志 (高34)